Actiphy

SOFTWARE PACKAGE
RUNEXY

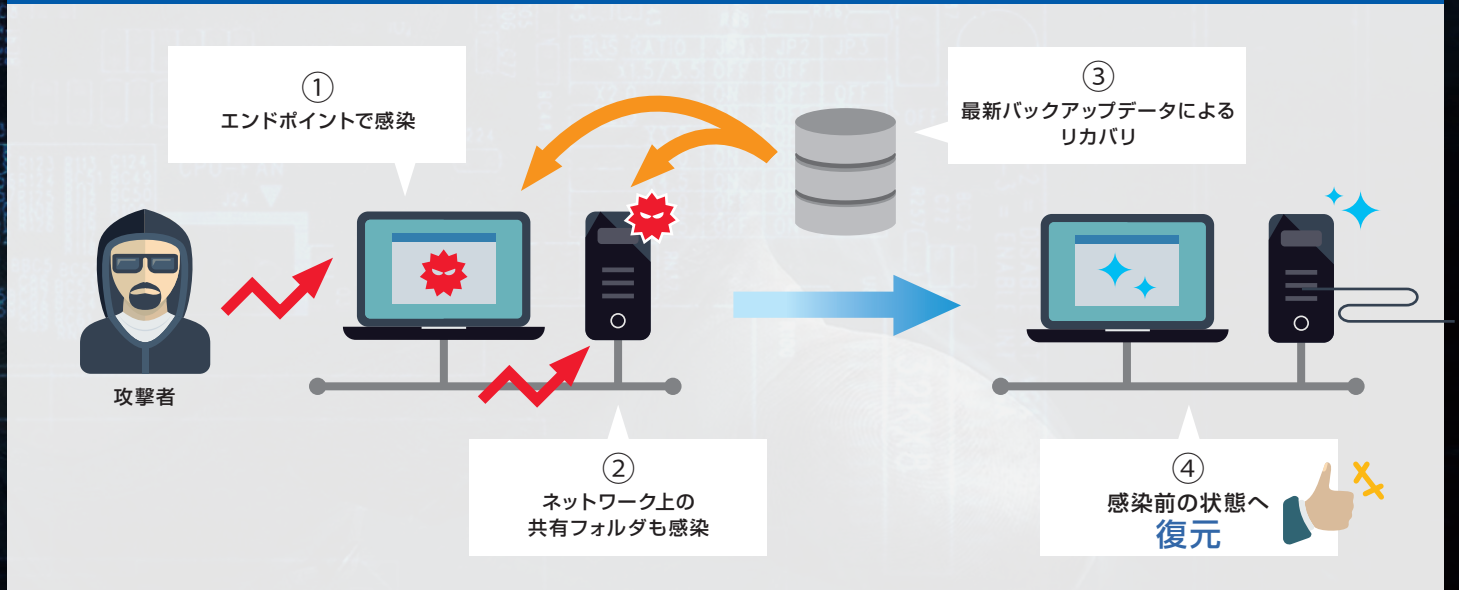
適切なバックアップが
ランサムウェアの脅威からあなたを守る

ActiveImage™ -RE
PROTECTOR

端末に感染すると、ハードディスクや共有フォルダにあるファイルを勝手に暗号化し、復号化と引き換えに金銭などを要求するランサムウェア。
このようなランサムウェアへの対策としては、「予防」だけでなく、感染してしまった後の「復旧」に目を向けることも重要です。この点で効果的なのがバックアップで、万が一ランサムウェアの感染が広がってしまったとしても、バックアップデータをとっていれば、短時間で正常な状態へ復元することが可能です。

しかし、近年バックアップデータをとっていても、復元できなかったというケースもあり、バックアップデータの保存先を工夫することが重要です。

バックアップデータがあれば復元も容易!



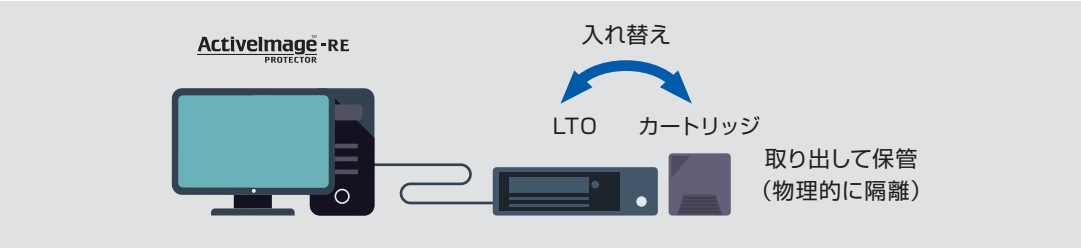
理想のバックアップを実現するActiveImage Protector-REとは

ActiveImage Protector-REによるバックアップはここが違う！

『ActiveImage Protector-RE』(アクティブイメージプロテクター)は高速バックアップ·リカバリソリューションです。ActiveImage Protector-REでバックアップを取得しておけば、端末や共有フォルダがランサムウェアに感染したとしても、ファイルをすぐに復元することができます。また、バックアップデータをランサムウェアから守るために有効なオフラインバックアップ(ネットワーク接続のない環境にバックアップデータを保存すること)にもActiveImage Protector -REは対応しています。

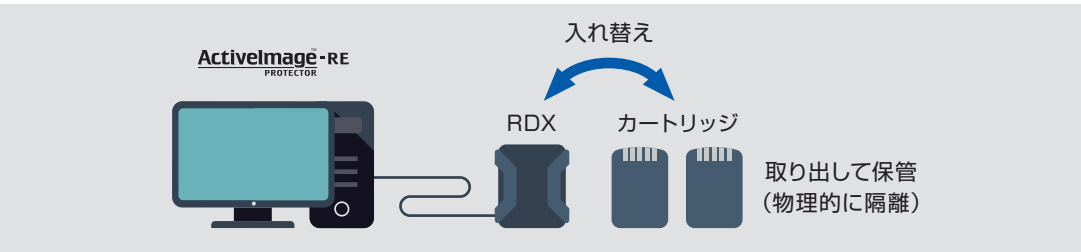
LTOへのバックアップ保存 POINT 1

LTOの特徴として、大容量のデータを長期的に保管することに向いており、改ざんができないことが挙げられます。
ActiveImage Protector -REでは、保存先としてLTOを指定し、定期的にバックアップを保存することが可能です。



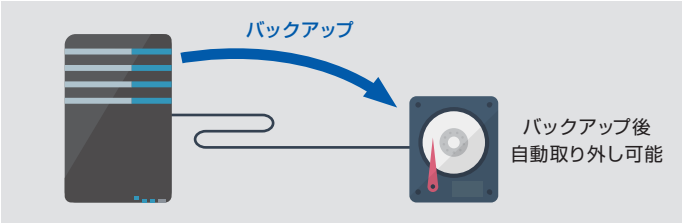
RDXへのバックアップ保存 POINT 2

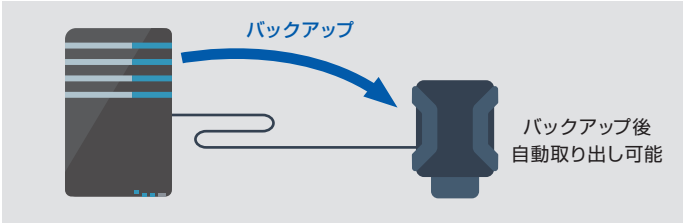
RDXの特徴として、頑丈で壊れにくいことに加え、LTOと比較すると安価なため導入しやすいことが挙げられます。
ActiveImage Protector -REでは、保存先としてRDXを指定し、定期的にバックアップを保存することが可能です。



バックアップ保存先を自動で取り外す POINT 3

ActiveImage Protector -REでは「保存先隔離オプション」を使用することで、バックアップ後保存先の接続を自動で切断することが可能です。
また、「RDXオプション」を使用することで、保存先として設定したRDXのカートリッジを自動で取り出すことが可能です。
※ 再接続は自動で行われないため、バックアップスケジュール開始前に手動で再接続を行っていただく必要があります。
※ ファイルバックアップでは本オプションを設定しても動作しません。





https://www.activeimage-re.com/

販売元 RUNEXY® Run in the Next!
株式会社 ラネクシー
E-Mail:aipre_sales@runexy.co.jp

開発元 Actiphy

お問い合わせ